

こんな事故にご用心

# 冬場に気をつけたい！高齢者に多い事故

問い合わせ 市消費生活センター ☎⑤73236

## 火が衣服に燃え移った

ガスコンロで調理中、衣服にコンロの火が燃え移り、1人が死亡する火災が発生。  
(2011年1月千葉県)

**!** 調理中は、ガスコンロに近づき過ぎないでください。火に直接触れていなくても、放射熱により発火することがあります。また、調理中はその場を離れないでください。



## スプレー缶が破裂し、火災

石油ファンヒーターの前に置いていたスプレー缶が破裂し、可燃性ガスにファンヒーターの火が引火。住宅が全焼し、1人がけがをする火災が発生。  
(2013年1月神奈川県)

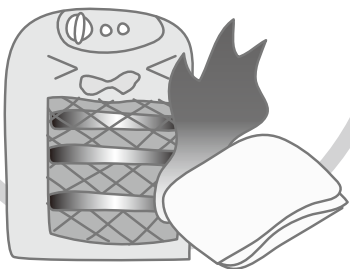
**!** カセットボンベやスプレー缶などをストーブやガスコンロなどの熱源の近くに置かないでください。加熱されると内圧が上昇して破裂し、噴き出た可燃性ガスに引火して爆発するので危険です。



## ストーブの近くに置いた毛布が発火

電気ストーブを使用中、周囲に置いていた毛布や衣類などが触れて発火し、1人が死亡する火災が発生。  
(2012年2月石川県)

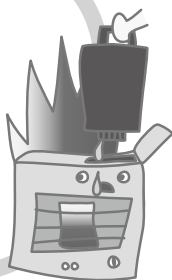
**!** ストーブの近くに布団や新聞紙など、燃えやすいものを置いたり、洗濯物の乾燥に利用しないでください。また、就寝時は使用しないでください。



## タンクのふたが外れて火災

給油の際、カートリッジタンクのふたの締め方が不十分だったためにセット時にふたが外れていた。その状態で点火操作を行ったため、こぼれた灯油に着火。住宅が全焼し、1人が死亡、1人が重傷を負う火災が発生。  
(2009年1月千葉県)

**!** 石油ストーブに給油するときは、ストーブの火を消してください。給油後は、カートリッジタンクのふたを確実に締めてください。



## 電気こたつの掛け布団から発火し、火災

電気こたつの中に掛け布団を押し込んで使用していたため、ヒーターユニットの保護カバーに触れ、火災が発生。  
(2012年4月兵庫県)

**!** 電気こたつの中にこたつ布団や座いす、座布団などを押し込まないでください。洗濯物を乾かして火災になった事例もあります。電源コードをこたつの脚で踏んだり、折り曲げたりすると断線し、火災の原因になるので注意してください。



引用：独立行政法人 製品評価技術基盤機構リーフレット

消費者シリーズ

No. 194

安くなるはずの電話料金が  
2.5倍に IP電話の契約

問い合わせ

市消費生活センター ☎⑤73236

「IP電話に変更すれば電話料金が安くなる。工事費用も工事後に返金する」という勧誘電話があった。年金生活なので、安くなるなら助かると思い承諾した。その後、工事費用は返金されたが、毎月の電話料金がこれまでの2.5倍になり驚いた。契約書を息子に見てもらおうと、インターネット接続サービスも契約していることが分かった。パソコンを持っていないので不要な契約だ。説明と違うので納得できない。

アドバイザー

(80歳代 女性)

IP電話はインターネット回線を利用するサービスのため、勧誘事業者を通じて、光回線、プロバイダなどを同時に契約することが多く見られます。さらに、IP電話に変更したことにより、これまで利用できていた緊急通報サービスなどが使えなくなる場合もあります。勧誘されても、その場で返事をせずに、家族などと一緒に契約内容や1カ月の支払総額、解約条件などを確認しましょう。困ったときには消費生活センターにご相談ください。

(国民生活センター発行「見守り新鮮情報 231号」より)